

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月29日

計画の名称	宇部新川駅を中心としたにぎわいのあるまちの顔づくり												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	宇部市												
計画の目標	<p>当地区は、昭和31年に駅前広場の都市計画決定がなされていますが、駅舎、駅前広場はそれ以前に建設されたものを利用しており、未整備のままとなっています。</p> <p>駅舎の老朽化や、公共交通の乗換が不便、車両と歩行者の動線が交わるなど、安全性・利便性の低い駅前広場であり、また、駅周辺では、交流スペースが不足し都市機能の集積が乏しく高度利用がされていない状況となっています。</p> <p>これらを解消するため、駅舎・駅前広場の整備による利便性の向上を図るとともに、駅周辺に不足している交流機能や都市機能の集積を行うため、土地の高度利用化を促進する再開発事業による「まちの顔」づくりに向け、地区再生計画等を作成し、権利者の合意を図っていきます。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	59	A	59	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	宇部新川駅周辺の都市機能整備により、中心市街地の交流人口が拡大しにぎわいが創出されることで、歩行者通行量（休日）を14,880人/日（H27）から15,500人/日（H31）に増加させる。 中心市街地における歩行者通行量（休日）を測定	14880人/日	0人/日	15500人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	宇部市	直接	宇部市	—	—	宇部新川駅周辺地区都市 再開発支援事業	地区再生計画、街区整備計画 、コーディネート業務	宇部市	■	■	■	■	■	59		—	
											小計						59			
											合計						59			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<p>「社会資本整備総合交付金交付要綱」（平成22年3月26日制定、令和3年3月30日最終改定）第8に基づき本市が作成する【宇部新川駅周辺地区都市再開発支援事業】を基幹事業とする社会資本総合整備計画（宇部新川駅を中心としたにぎわいのあるまちの顔づくり）（以下「整備計画」という。）に関して、同要綱第10に定められた評価を行うことにより、事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的として委員会を設置する。（平成22年3月26日制定、令和3年3月30日最終改定）第3に基づいて実施する整備計画に係る事後評価において、次に掲げる事項について行うものとする。</p> <p>(1) 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（社会資本整備総合交付金を効果促進事業に充てた場合にあっては、具体的な事業の内容を含む。）</p> <p>(2) 事業効果の発現状況</p> <p>(3) 中間評価にあっては評価指標の中間目標値の実現状況、事後評価にあっては評価指標の最終目標値の実現状況</p> <p>(4) 今後の方針</p>	<p>令和3年8月19日（木）</p> <p>公表の方法</p> <p>ホームページ</p>

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>地区再生計画等の作成により、宇部新川駅周辺地区の市街地再開発に対する機運は高まっているものの、地区内の合意形成には至っておらず、都市機能整備に着手できていないことから、通行量の増加につながっていない。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

比較的、再開発に係る合意形成が醸成しつつある宇部新川駅東側エリアについて、優先的に合意形成を進め、街区全体の機運が高まれば、協議会設立等の組織の立上げを図っていく。

